

第2回100人会議ふりかえりシートまとめ

【資料の説明】

- ・各メンバーから回収したふりかえりシートの質問「1.」「3.」「4.」を取りまとめました。
- ・分類方法は、次のとおりとしました。
 - 質問「1.」 大きく【情報提供】【インタビュー】【その他】と分類し、メンバーの意見から共通する視点などをキーワード化し、まとめました。
 - 質問「3.」 グループ討議のテーマに沿って分類しました。
 - 質問「4.」 メンバーの意見から共通する視点などをキーワード化し、まとめました。
- ・常滑市は南北に細長いため、意見者が市内のどの辺りに住んでいるのかを把握するため、市を4つに区分しました。北(名古屋市より)から「青海」「鬼崎」「常滑」「南陵」の順になります。
- ・例えば、「半田病院と比べて病院スタッフが・・・とは思わなかった。(南陵20男)」という意見は、南陵地区在住、20代、男性、の意見です。

1. 情報提供、インタビューを聞いて感じたこと、印象に残ったことを書いてください。

【情報提供】

(他病院との比較)

- ・半田病院と比べて病院スタッフ（医師、看護師等）の数がここまで差があるとは思わなかった。(南陵20男)
- ・詳しい病院内の現状や内容が知れて良かった。しかし、これから新病院建設にあたってとても長い道のりがあるのだと改めて感じてしまいました。(人口、他病院との比較などを知って)(常滑20女)
- ・知多地域の他の病院のことも詳しく説明していただきありがとうございました。(常滑50女)
- ・常滑と半田の相違(常滑50男)
- ・比較が様々にされていて、常滑市民病院について少し理解ができたように思います。(常滑30女)
- ・知らない所や近隣の病院の状況が分かり、判断がしやすくなった。4疾病5事業や病床の性格とさまざまな機能があり、これをすべて競合するのではなく、役割分担により連携していくことが必要。半田、知多・東海、知多厚生と役割をよく話し合う必要あり。()

(経営分析)

- ・未収の起こる原因。(常滑30男)
- ・小さい病院はスタッフ確保が難しいのはなぜ？(常滑30男)
- ・平成19年度から20年度から患者(入院、外来)が大きく減った理由などは把握できているか気になりました。(常滑30男)

(人口推計)

- ・人口推移をもっと厳しく見るべき。全体に減るので転入はない。(南陵40男)
- ・高齢者人口が減少傾向になってくること等、人口推計も参考になったと思う。(南陵40女)

(医療機器)

- ・外観のイメージよりも、医療機器が充実している。(鬼崎40女)
- ・医療機器はかなり整備されているのに医師の数が不足しているのがもったいないと思いました。(鬼崎40男)
- ・医療機器が思った以上に整っていた。これを生かすことが必要であろう。(南陵60女)
- ・医療機器が他病院と同じように整備されている事は初めて知った。(鬼崎60女)

(アクセス)

- ・老人の交通の便利、費用のこと。(鬼崎 男)

(その他)

- ・情報提供は参考になりました。(南陵40女)
- ・病院にあった、地区にあった体制づくりが大切だと思った。(鬼崎50男)
- ・参考になりました。(青海50男)
- ・病院の現状が少しでも分かりよかったです。(常滑50男)

- ・いろいろな視点から検討されていて安心した。(青海70男)
- ・病院に対して知識の少ない委員に対して非常に有効でした。(鬼崎70男)
- ・他市民病院の常滑市民の利用状況と他市民の常滑市民病院の利用状況データがほしい。(常滑 男)

【インタビュー】

- ・インタビューを聞いて、あまりよくない勤務体制で働いていらっしゃるのだなと思った。働いている方も、気持ちよく働ける環境が必要。(南陵20女)
- ・専門の医師がいなくても待機してくださっていることを知り、安心しました。(鬼崎30女)
- ・医師の当直の状況は厳しいとは知っていたが、予想を上回る厳しさである。コンビニ受診が多いことが、救急医療体制の負担を大きくしている。(青海30女)
- ・救急の対応は少ない医師で行っていて大変なことが分かりました。(常滑30女)
- ・医師、看護師共になんばっていただいていると思いました。(鬼崎30男)
- ・人員について不足しているとお話がありました。市民病院なので、財布の出所が異なるため難しいかもしれませんが、知多半島全体で人員を融通し合う制度・体制・組織などにして行ければと感じました。(南陵30男)
- ・救急患者を100%受け入れているというのを聞きして、市民病院のイメージはとも上がりました。(鬼崎40女)
- ・救急の受け入れが100%基本断らない体制をとっている。(南陵40女)
- ・救急外来(救急車で来る患者さん)の8割が軽症と聞いて、常滑市民病院でも大きな問題なのだと思います。(ただし、救急でAM4:00にかかった後、民間の病院で重症だと言われたこともあるので、どこで判断しているか心配。)(常滑40女)
- ・救急で搬送される患者のおよそ8割が軽症で、少ない医療スタッフで行っている状況に

対して負担になっている。(常滑40男)

・副院長さんの仕事のハードさにびっくりしました。ゆっくり休んでいただいて、万全の体調で手術などに臨んでいただきたいと思いますのですが…。新病院ができ、看護師さんやお医者様の負担が少しでも軽くできるとよいと思います。(南陵40女)

・人員がきびしい中、救急体制を維持し続けていることに疑問を感じました。知多半島地域全体で考えたら役割分担が出来るのではないかと思う。(青海40男)

・救急利用の8割以上が軽症だったと聞いてびっくりしました。救急車の利用のしかたについて、市民も学習するとともに救急車のお世話にならずにすむ健康づくりの必要性も感じました。(鬼崎40女)

・赤字にならない病院にする事は難しい。医師不足。スタッフ不足。(40女)

・救急診療を断らない(原則)という、今、姿勢でやっているということ、とても新鮮に聞きました。スタッフの方々のご苦労も参考になったと思う。(南陵40女)

・たいへんだなと思った。(常滑50男)

・救急を受診するにあたり、市民として対応ができるマニュアルがあると、コンビニ受診も少なくなると思う。(50男)

・救急体制を維持するため、医療スタッフが健康をひきかえにして努力してくれている。労働環境として悪すぎる。24時間救急体制を期待するなら、受診する側もコンビニ受診を控えなくてはいけない。(鬼崎50男)

・常滑市民病院の方々一人ひとりが夜勤や日直をこなし、大変な仕事とは思いますが、私は期待します。これからの経営、さらなる努力して改善して行ってほしい。(常滑50女)

・現場の医師、看護師(医療体制)のきびしさを感じる事ができました。(鬼崎50男)

・医師、看護師の当直の実態を聞かせていただき、特に医師の方の負担が多いことを知り、申し訳ない気持ちになりました。(常滑50女)

・救急運用のマンパワーの問題点、ご苦労さまです。(鬼崎50男)

- ・コンビニ医療として安易に病院（救急車）を利用している市民が医療スタッフの勤務体制を悪くしていることを実感した。（南陵50女）
- ・大変いろいろなことを教えて頂いた気がします。医師の仕事の多さ、大変さがまじまじとわかりました。（鬼崎50女）
- ・医師の勤務が大変なことが分かった。（鬼崎50男）
- ・当直勤務のハードさ。医師不足との悪循環。（南陵50女）
- ・ご多聞にもれず、最前線（医師、看護師、すべてのスタッフ）の勤務実態は大変厳しいもので、心から労いたい。ただ、医療の過重労働は、私たち市民のいのちと健康にかかわることを忘れたくない。（南陵50女）
- ・難しいと思うが、常勤（特に医師）大量確保を目指してほしいと痛感しました。現スタッフの皆様の現状、大変であると理解しました。（鬼崎50女）
- ・当直の医師、看護師の救急対応が大変で、医師、看護師の数の増加が認められないなら、救急は難しいのでは？（鬼崎50男）
- ・副院長さんのお話に驚きを感じました。（南陵60女）
- ・コンビニ救急。利用者のモラル。（鬼崎60男）
- ・医師の勤務状態がよくわかった。インタビューは今後も続けてほしい。（鬼崎60男）
- ・医師、スタッフの不足は全国的なことだとは思いますが、現状を考えるとたいへんな思いで頑張っておられる方々に深く感謝します。（常滑60男）
- ・救急対応の大変さを実感した。（青海60男）
- ・この会議に参加し、病院の現状、問題がよくわかり、よかったと思います。インタビューは良かったと思います。看護師さんの言われたこと非常によくわかります。そういうことも100人もいるのだから分からせるべきだと思います。（常滑60男）

・救急医療の大変なこと、医師の仕事の大変さを感じました。(常滑 女)

【その他】

・基本構想策定委員会の情報は反映されていない。(反映してほしい) (青海 30 女)

・100 人委員会に若い人が少なく感じました。(常滑 30 男)

・「市民が医師を呼んでくればいい」という言葉が印象に残りました。(鬼崎 40 男)

・いろいろお話しをうかがう程に、期待より心配の方が多くなります。(南陵 50 女)

・早期建設 (南陵 60 女)

・市民病院の実態がわかってきた。(南陵 60 男)

・資料及びインタビューは参考になった。(鬼崎 70 男)

(以上)

3. グループ討議を終えて、今日のテーマに対するあなたのご意見を書いてください。

【救急】

- ・開業医などとも連携し、夜間や休日の診療体制をつくることはできないか？（南陵20男）

- ・急性期医療がしっかりしていれば市民は安心感を得られ、また市民病院を利用しようという気持ちになるので、利用者が増えていいと思う。（南陵20女）

- ・常滑市民病院が救急医療について担っていることの重大さがわかりました。救急医療のかかり方を周知することが大切。（常滑30女）

- ・救急患者を基本断らないとのことなので、救急医療の拠点として確立してほしい。（鬼崎30男）

- ・高度医療に対応できることも重要ですが、普段から身近になる救急について充実させていくことが必要ではと思いました。そのために設備よりもスタッフ確保がまず先決で、市民病院単位で考えるのではなく、「知多半島病院」として大きな枠でスタッフを確保してほしいと思います。（南陵30男）

- ・救急患者を減らすためには市民病院の午後診療も検討すべきと思いました。（南陵30男）

- ・新しい病院を建てるにあたって、赤字の病院ではなくもうかる病院でなければ必要ないと思っていたが、救急で必ず受け入れてくれる病院があれば安心だと思った。（南陵40女）

- ・救急医療が充実すれば、かなり市民から信頼される病院になるのではないかと思われる。（南陵40女）

- ・市民が安心して暮らしていくためには、救急対応できる病院が必要。（鬼崎50女）

- ・町医者にも夜間救急を助けてもらえる体制が必要。（鬼崎50女）

- ・市民にとって救急対応できる病院は心強い。まずは救急で診察を受けて、対応可能な病気ならこの病院で、できないならできる病院へ転院していけばいい。常滑市民にとって“市民病院”は市民のものであるから、安心できる身近な存在であってほしい。（南陵5

0女)

・救急医療は絶対必要というのは誰でも思うこと。その救急医療について、常滑市民病院ではどのように対応しているのか。医師、看護師の宿日直表と直接の話で、状況がよくわかりました。さらに、グループ討議の中で技師の話聞き、「待機」の医師が到着するまでにスタッフがどれだけフォローしているのか（患者の命を救うために）知りました。「救急を断らない」ことのしんどさを市民の一人として共有し、何かのかたちで協力できたらと思いました。（常滑50女）

・救急医療の複雑さがよく理解できた。（鬼崎60男）

・救急医療では、診療所又は他の病院との連携、又は市民の救急への理解があれば、救急の利用も一定特化でき、医師や看護師の負担も軽減し、経費の節約にもつながる。（ ）

【電子化】

・新病院移行に際して予約やカルテ等の電子化の計画も組み込むべきではないか？ 常滑市民病院は電子化が遅れているが、課題は何なのか？（南陵20男）

・電子化による効率化を進めてほしい。（南陵20女）

・待ち時間をネットで示す。（鬼崎30女）

・待ち時間について、現在の予約の進捗状況だけでもネットや電話で確認できるとよいのではないか。（青海30女）

・カルテのネット共有はやはり望ましい。（鬼崎30女）

・健診システム、予防システムも含む健康管理システムの医療情報の一元化ニーズは高い。Personal Health Record の概念を広めたい。（青海30女）

・電子カルテの導入により、開業医との共有ができれば、患者の負担軽減につながると思う。（青海50男）

【産婦人科、小児科】

・産婦人科、小児科はこれから自分自身不安に思っていたことなので、そういう意味では新病院に対しての期待や不安が増しました。市民の負担は多くなるかもしれないが、やはり常滑の病院にこれからもかかりたいので、是非新病院をつくってほしいです。(常滑20女)

・今後常滑市がどんな風に成長していきたいのか考えさせられました。今回の私のグループは若い人ばかりで、やはり子供・出産・救急に注目が集まっていました。人口増を望むなら、やはり重要なのではないかと考えます。(常滑30男)

・産婦人科がなくなったということで、少子化含め新しい病院でまたできればと思います。(鬼崎30男)

・産科復活については是非検討必要だと思います。(南陵30男)

・常滑市内に産科がないというのは大きな問題だと思います。新興住宅地をどんどん推進しているというのは、若い世代を増やすという方向性に受け止められる中、産科の必要性は必須と思われます。(鬼崎40女)

・産婦人科は必ず必要であると思います。常滑市にお産ができるところが1か所もないので、是非復活してほしいです。産んだ病院となると、小児科にもかかると思うし、子供も一緒に、おじいちゃん、おばあちゃんもついでに車で連れてくることもできるし…。患者数がふえることにつながっていくと思います。(南陵40女)

・産科をもう少し知多半島全体で考えていくべき必要性を感じた。(常滑 男)

【診療科】

・麻酔医がないのに驚きました。(常滑40女)

・選択集中型の診療。(常滑40女)

・ペインクリニック、総合診療科、女性専門外来、ぜひお願いします。(鬼崎40女)

・口腔外科の常勤の先生がほしい。少なくとも専用の部屋、椅子、レントゲンが入れてもらえますか？(鬼崎50男)

・整形外科、産婦人科、呼吸器内科等必ず必要である。市民にとってやさしい病院であつ

てほしい。(常滑60女)

・整形外科は重要だと再認識した。ペインクリニックを含め、他市町村にない診療科目の設立に期待する。(常滑 男)

【感染症】

・特定感染症病院としての機能には期待する。(市民が誇れると思う。)(常滑40女)

・感染症の病棟を機能させるべきと考えているようだが、経費の点で賛成できない。なるべく不採算部署は作らないのが、身の丈に合った病院と考える。空港が隣接していても、能力のある病院にまかせた方がいい。(常滑60女)

【がん】

・がんの治療で、放射線治療を行っていないことには少し驚きました。やはり、がんの患者数はどんどん増えると思うので、力を入れていただきたいと思います。(南陵40女)

・よいDr. が呼べて、がん患者さんが一人でも助かる治療は必要だと思います。(常滑50女)

・連携と専門病院、術後ケアのアドバイス等希望します。(鬼崎50女)

【病床数】

・新市民病院は、現在の300床から250床になると聞いて、いろいろあって難しいなと感じた。(南陵40女)

【病診連携、病病連携】

・開業医、かかりつけ医との連携の現状の体制が市民からはよくわからない。医師会とのかわり方を知る機会が欲しい。(青海30女)

・町医者との連携が大切。(常滑30女)

・二次医療に特化。一次は開業医に依頼。(南陵40男)

- ・近隣の開業医さんや病院との連携も重要だと感じました。(鬼崎40女)
- ・現在不足している分野(診療科)を開業医と話し合っ、夜間休日の診療を可能として、住民一人ひとりが安全・安心して暮らせるまちづくりを目指してほしい。(鬼崎50男)
- ・市民の税金を投入する病院なのだから、医師会との連携で、1次医療は民間に任せ、2次医療に専念、しかも時間外に力を入れてほしい。例えば、日中なら小児科の専門診療所が市内にある。しかし、医師は市外に住んでいるので、夜間は見てもらえない。つまり、民間の隙間を埋めてほしい。(常滑60女)
- ・病院と診療所(市内開業医)が、現在はうまくいっていない。他市の病院との連携のほうが進んでいる。現在の市民病院の欠点を引き継いではならない。(常滑60女)
- ・一次、二次、三次の確立(医師会との調整、大学病院との良好関係)(常滑60男)
- ・中程度のレベル。地域のクリニックと高度医療機関を結ぶ病院。人脈、パイプ作りをしっかりやってほしい。(南陵50男)
- ・知多半島全体で考えるというのはわかりますが、半田病院だけに頼りきりなのはどうかと思います。(鬼崎40女)

【介護施設との連携】

- ・新市民病院の建設においては、社会的入院の解消を目指していただきたいと思います。そのためには、地域生活移行をどうするかに尽きます。地域との連携は、対医療だけではありません。福祉との連携は不可欠です。特に介護保険との連携は不可欠でしょう。具体的には、老人保健施設、老人福祉施設、各種介護事業者との連携です。また、それを遂行させるために、病院内にMSW(医療ソーシャルワーカー)あるいはPHN(保健師)等のスタッフも必要となるでしょう。コメディカル・スタッフ(医師以外の医療従事者)のスキルアップを求む。(青海40男)

【高齢者】

- ・急性期が過ぎ、慢性期や回復期リハビリになると、診療報酬が下がってもうからない?(はっきりわかりません)。今の医療制度の問題もあるでしょうが、どうしたら高齢者が利

用しやすい（そして経営もうまくいく）病院になるのでしょうか。市民として何ができるのか。（常滑50女）

・病院に来るのは高齢者ばかりではないので、療養病床ばかりでなく一般病床も65歳以下の病室を分けてほしい。（南陵50女）

・常滑市民病院ならではの亜急性期、その後の受け皿まで親切な対応をしてもらえる病院。（青海60女）

【女性】

・特に女性に喜ばれることをする。（南陵20女）

【災害】

・災害時に強い施設が必要であると思った。（南陵20女）

・震災に強く、安心してかかれる病院（常滑30女）

・市民が安心して暮らしていくためには、災害時に対応できる病院が必要。（鬼崎50女）

【経営】

・患者数を確保しつつ効率良い経営のためのアイデアを考えたい。（鬼崎30女）

・効率的で効果的な医療を提供し、患者数（収入）を増やして経済的な委縮を防ぐ。（青海30男）

・医師をはじめすべてのスタッフの定期的な評価によるモチベーションの向上、維持を図る。（青海30男）

・全部適用の医療経営が良い気がします。（常滑30男）

・80億円が次世代の大きなツケにならないよう、しっかり計画・実行して、行ってほしい。（鬼崎40男）

- ・コストを圧縮して、長く負の遺産にならないように。独立採算。(南陵40男)
- ・市民が病院を支えていくうえで、今年度の経営を良くしていくことも課題だと思います。(鬼崎40女)
- ・財政難の中、市民の熱い思いで新市民病院をつくるという気持ちを再確認しました。(常滑50女)
- ・住民が負担してもいいと思える病院へ。(鬼崎50女)
- ・できるだけ赤字にならない病院、魅力ある病院に。(常滑50男)
- ・病院内で、医師が率先して赤字解消の知恵を検討したり、連携を模索したり、サービスに努めるなど、以前の市民病院の良さを取り戻してほしい。(常滑60女)
- ・市民経営について、もっと突っ込んで議論したい。(南陵60男)
- ・病院の必要性、早期建設への期待は共通した皆の思いであるが、それを裏付ける財政基盤に対するメンバーの不安は余り感じられない。果たして大丈夫なのかという一抹の不安を感じている。(鬼崎70男)

【基本コンセプト、特色】

- ・未病を主に経営を進めた方が良くと思います。(常滑30男)
- ・知多半島の病院で連携が取れていれば今のまま新しくすればよいと思うのと、TVで名医についての内容がよく出ているので、そういった特出した技術のある病院があれば常滑市に限らず全国規模の病院ができるのでは、いろいろな思い悩んでいる状態です。(常滑40男)
- ・市民病院が必要だという考えは変わりません。しかし、様々な規制があり、すべて満足とまではいかないのが現状のように思います。常滑市民病院の一番の特徴は何か。知多地域で常滑が担う役割は何か、深く掘り下げていけば良いと思います。他の病院と同じことを同じようにやる必要はないと感じます。(青海40男)
- ・いろいろ規定があり、理想とかけ離れた病院になってしまうのではないかと少し不安に

なりました。でも、今までとは何か違う、何か特色のある病院に…。限られた既定の中で…がんばっていきたいです。(南陵40女)

・魅力ある病院にすることは難しいが、何かにしぼり(魅力あるもの)進めていくことが必要ではないかと感じた。「常滑市民病院にかかれば、この治療はよい」というNO-1を創っていくことが大切だと思う。(40女)

・最新治療があるに越したことはないが、常滑市民病院としてどこまでの治療ができれば、安心して受診できるかを考えることだと思う。(50男)

・新しい常滑市民病院での先進医療は、必要だとは思いますが、何より市民のための病院で、市民の立場で考える病院であってほしい。(常滑50女)

・何でもそろった病院が良いに決まっているが、常滑市の特徴を生かし、ニーズに応えられるものにしなければいけないと思った。たとえば、高齢者の多い市なので、そこにターゲットを決めるとか…。(常滑50女)

・国際空港の地元を生かした方が良い。(常滑50女)

・療養病床は今後必要だと思います。(鬼崎50女)

・診療科目の特化が必要との意見があるが、広げれば広げるほど結果的に職員数も必要となり、収益増につながらないのではないかと思う。あくまでも限定的な科目にするよう考慮すべき。(青海50男)

・入院したくないので、ピンピンコロリで在宅にてターミナルをむかえたい。スクリーニング and 二次救急 and 在宅サポートへの選択と集中ですかねえ。(鬼崎50男)

・将来を見据えて、総合的な市民病院を望む。患者が安心して来院できる。スタッフの充実。(常滑60男)

・診療科目の希望が多いが、全てを持った総合病院は無理だと思う。(南陵60男)

・全体のコンセプトとして、市長の提唱する「身の丈に合った行政」に賛成する。その観点から考えると、総合病院である必要はない。急患の少ない科は外してもよい。必要最低限にするのが身の丈に合っている。(常滑60女)

・赤字でもいいが、市政を圧迫するほどでは困る。ベッドのない市内の医療機関において、どうしても入院機能が必要なら、①救急外来、②高齢者に配慮（高齢化率が高く、急患が多い）、③小児医療、④亜急性、回復期を受け入れる。この4点を重点に、他の病院との連携で、ベットを減らし、必要最低限の病院を目指してほしい。（常滑60女）

・専門医が少なく、なかなか見てもらえない科の専門医を招へいする。他市からも患者が来る。それを目玉にすればいい。（常滑60女）

・身の丈に応じた規模、診療内容が大切。割り切り。サービスとお金のバランス。（青海70男）

【医師確保】

・医師を引き寄せる、やる気を出してもらおう工夫として、ポイント報酬制とか。（鬼崎30女）

・いろいろな科があればいいが、医者確保が難しいと聞くと、どんな病院ができるか不安。（南陵40女）

・医師確保が難しいという話題になって暗くなりましたが、市民の力で魅力ある病院をつくり、医師を呼びたいと思いました。（常滑50女）

・やはり一番欲しいのは良いドクターではないか。（常滑50女）

・安定した患者を得るには常勤の医師が必要。（青海50男）

【PR】

・積極的に宣伝する。（鬼崎30女）

・赤字『億』と言われても、市民に人はピンとこないもので、1人あたり利用しなくても「2万円近く」市民病院に支払われているなど、わかりやすく市民病院の赤字を知らせ、利用を呼び掛けるようなPRをした方がいいと思います。（常滑40女）

・よその地から流入してくる人たちが、市民病院の情報を得やすく、利用してもらえる形

にしてほしい。(常滑40男)

・市民の方々は、病院の情報については、広報よりネット又は口コミ等で情報を得ている。
(南陵40女)

・市民でありながら(市民病院の)良さを知らない事については、もっと市民にPRすべきだと思います。(鬼崎50女)

【その他】

・遠方の患者さんも、市民誰もが平等に利用できる病院にしてほしい。(常滑40女)

・テーマをしぼった方がよいのか、しぼっても結局はいろいろなことに結び付いていくのでしぼらないほうがよいのか…??(鬼崎40女)

・病院の職員さんたちの生の声が聞けて良かったです。(鬼崎40女)

・診療科、ベッド数など、病院の規模を考えなくてはいけないと思う。後のことも考えて基本を決めて、その後、病院の細かいところ(待合室の内容など)の希望を聞いてほしい。市民及び近隣住民にとって魅力的な病院になってほしい。具体的な意見は次回に。(常滑50女)

・難しい問題が多い。(南陵50女)

・物わかりのいい市民だ。経済的負担を考えて、この程度でよいという“おもいやり”が強すぎる。この場合、もっと理想を語るべきだ。でないと、基本構想策定委の“専門家”には伝わらない。(南陵50男)

・テーマが大まかな感じで、具体的な話や現実的な話をしたかった。焦点が合わない感じ。
(常滑50男)

・どうすれば市民の方が病院を利用するかの問題(青海50男)

・「どんな機能を持った」が勘違いされやすく、誤解を招く進行形態に受け取られた感があります。要望をまとめるような話し合いになって、少し違うかなと感じました。(南陵50男)

- ・話しあうテーマを決めて意見を出した方が、広い意見が出ると思います。(常滑50女)
- ・新市民病院をつくることは子供に借金をさせることになるので、少なくとも医療費無料の年齢を上げて、子供にやさしい町にしてほしい。地域によって格差があるのは問題ではないでしょうか。(鬼崎50男)
- ・いろいろなことばが出てわからないことも多かったですが、きちんと説明して頂き、大変勉強になりました。なかなか討議にはきちんとした意見が出せないのが情けなかったです。また、常滑市民病院を見直すことができたのはうれしく思いました。(鬼崎50女)
- ・市民病院は市民の光です。安心して治療を受けられるような、ここにきて本当によかったと言える病院に。スタッフの笑顔が患者にとっての薬になります。(鬼崎60女)
- ・いろいろな意見を小さい紙に書いて楽しかった。(南陵60女)
- ・病院内でも紹介制度がうまく機能していない。せっかくかかってもらった患者を失望させないサービスが求められる。目先の収益よりサービスを職員が徹底すべき。(常滑60女)
- ・現在経営が好転していると聞いた。市も病院も意識改革が進んでいるとのこと。次は市民の意識改革が必要では。自分たちの病院、自分たちの問題として考える人を増やしたい。100人会議の役割が大きいことを感じる。(南陵60女)
- ・一刻も早くつくってほしい。(南陵60女)
- ・問題が大きく、真剣に討議しなければならないと思った。(鬼崎60男)
- ・すごーくいい討議ができたと思います。初めは「病院いるの？」という気持ちで、だんだん「どうしたら建てられるか…」というように自分の意識が変わってきたように感じられる。グループの方の中で「将来的なことを考える場合、楽観的に考えないと進まない…」という意見に「なるほど…」と思った。いろいろな意見が聞けて、参加してよかったと思います。
- ・ともかく一日も早い建設となるよう、具体的スケジュールが必要。その中で市民の意見統一を。(鬼崎70男)

・自分たちの希望は早く出来る様にとの願いです。財政的にはわかりませんが…。(常滑女)

(以上)

4. 次回以降の100人会議の進め方について、ご意見があれば書いてください。

【運営方法】

- ・毎回会議に出られない方もいると思いますので、一人ずつ自由に発言できる機会を作られると議論も活発になると思います。(常滑30女)
- ・現状の進め方でよいと思います。4回目以降は各グループの代表者で討議しても良いかと思えます。(南陵30男)
- ・グループワークを中心に進めていただきたい。(南陵40男)
- ・おそらく同年代の方とのグループ分けになっていると思いますが、同年代の方の意見も聞けていいのですが、他の年代の方の市民病院への思いも聞いてみたいです。(常滑40女)
- ・まだ具体的な新病院のイメージが出来ないので、もっといろんな意見を聞きたいです。(南陵40女)
- ・「～について」(例：診療科目)と言われても、それすらよくわからないので、自由に意見を言っていけばよいと思う。(常滑40女)
- ・グループワークの時間を充分に取り、コーディネーターの方にどんな意見が出たかを発表してもらいたい。(鬼崎50男)
- ・今回グループ討議の時間を多くした事で、メンバー一人ひとりから意見を出していただくことができたのは大きかったと思う。何でもホンネで話ができるグループ討議が必要不可欠だと感じました。地域の拠点病院として必要だと思いました。(鬼崎50男)
- ・他の班の意見も聞いてみたい。(常滑50男)
- ・市の関係者も各グループに入って話を聞いた方がよいと思います。(南陵50女)
- ・今後具体的に実現可能項目をゆっくり討論して行きましょう！(鬼崎50女)
- ・一度は100人全員での討論も必要ではないか？(常滑60男)

・人生経験のある参加者なので、入院・通院で思ったことを話す時間がほしい。話題を絞り過ぎ。(南陵50女)

・討議時間をもっとほしい。(鬼崎60男)

・いろいろな意見が多く出されてなかなか終わりませんでした。(常滑60女)

・グループ討議の効果(成果)は、進行係の力量、メンバーの意識、協力度合いによって違ってくるので、むずかしいと感じた。(鬼崎70男)

【テーマ設定】

・グループ討議のテーマはある程度しぼられていた方がよい。今回はテーマを決めることがテーマのようになってしまって、論点がブレてしまった。(南陵20男)

・テーマに対する進行方向が不明確であるため、会議の初めがぼんやりと参加せざるを得なかった。(常滑30男)

・テーマをもう少ししぼって、内容を濃くしたいと思います。(鬼崎40女)

・グループ討議のテーマについては、ある程度テーマを決めていただいてもいいとおもいました。(各グループでテーマから決めていては時間が少なくなる。)テーマはたくさんあってもよく、時間で区切ってテンポよく切り返していくとか。(南陵40女)

・各テーマについて、どこまでの治療を希望するか考える。(50男)

・テーマを絞ってほしい。意見を出しやすい。(常滑50男)

・ピンポイントな議題で討論した方がいいと思います。診療科目の充実を図りたいと思うので、具体的な話をしたい。(鬼崎50男)

・スタッフ、設備の要望(無いものねだり)ではなく、テーマを明確に出していただいてもよいと思います。(南陵50男)

【資料・データ】

- ・議論したテーマについて現実的かどうか分かるデータがあると方向性が決まりやすいのでは？（鬼崎30女）
- ・事前に資料等はホームページにアップしてほしい。（青海30女）
- ・基本構想委員会とのフィードバックが見える形の資料もあれば面白いと思う。（常滑 男）

【市・病院の考え方】

- ・新病院の具体的な構想はどこまで進んでいるのか知りたいです。（常滑20女）
- ・今現市民病院にみえる医師、看護師の方達は、新病院をどう考えているのか？（青海30女）
- ・医療機器等を新市民病院にどのくらい現状より増やすのか、又は現状維持で行くのかの方向性をある程度示していただくと、いろいろ議論の内容も変わってくると思います。（鬼崎40女）
- ・100人会議の意見集約より、事務局がどんどん設計図をまとめてゆくべし。それに向かって委員を引っ張ってゆく。（鬼崎70男）
- ・役所（市）の方針を少し話していただきたいです。（常滑 女）

【福祉関係者の意見】

- ・新市民病院計画について、常滑の福祉関係者（例：むらさきの苑）はどう考えているのでしょうか。（医療、介護、福祉の連携は、これからの時代不可欠な視点なので。）（青海40男）

【メーリングリスト】

- ・100人会議やその後の意見交換ができるように、メーリングリスト的なものがあると良いのでは？（青海30女）

【病院見学ツアー】

・病院見学ツアーですが、私自身足が不自由なので、ぜひ見たいと思いますが、みなさんの負担にならないような形で開催してもらいたいです。(常滑40男)

【会場設営】

- ・説明を聞くときに机がないのがつらい。(青海30女)
- ・クーラー寒すぎました。(鬼崎50女)

【その他】

- ・常滑市民病院の特徴は何か教えてほしい。(青海40男)
- ・病院に来る仕組み作りを考えてほしい。(病気の時だけでなく)(青海40男)
- ・病院を知ってもらう事としては、目的の1つをはたしているとおもいます。(青海60男)

(以上)